

10. キーワード

(1) 脳・神経

(2) 発生・分化

(3) 神経科学

(4) 軸索輸送

(5) 細胞骨格

(6) 分子クラッチ

(7) Shoot in1

(8) アクチン線維

11. 現在までの達成度

(区分)

(理由)

25年度が最終年度であるため、記入しない。

12. 今後の研究の推進方策

(今後の推進方策)

25年度が最終年度であるため、記入しない。

13.研究発表(平成25年度の研究成果)

(雑誌論文) 計(1)件 うち査読付論文 計(1)件

著者名		論文標題			
Tahara, K., Moriuchi, T., Tsukui, M., Hirota, A., Maeno, T., Toriyama, M., Inagaki, N. and Kikuchi, J.		Ceramic coating of liposomal gene carrier for minimizing toxicity to primary hippocampal neurons			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	
Chemistry Letters	有	42	2013	1265-1267	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)					
なし					

(学会発表) 計(5)件 うち招待講演 計(2)件

発表者名		発表標題	
作村諭一, 前野貴則, 稲垣直之		分子輸送の不規則性が神経形態を極性化する	
学会等名	発表年月日	発表場所	
第65回日本細胞生物学会大会(招待講演)	2013年06月19日~2013年06月21日	ウインクあいち(愛知県名古屋市)	

発表者名		発表標題	
吉田互, 島田忠之, 鳥山道則, 河野憲二, 稲垣直之		脳発生におけるShootin1およびShootin2の機能解析	
学会等名	発表年月日	発表場所	
第65回日本細胞生物学会大会	2013年06月19日~2013年06月21日	ウインクあいち(愛知県名古屋市)	

発表者名		発表標題	
勝野弘子, 鳥山道則, 作村諭一, 池田和司, 水野健作, 稲垣直之		アクチンのトレッドミルによって引き起こされる遅い軸索輸送	
学会等名	発表年月日	発表場所	
Neuro2013	2013年06月20日~2013年06月23日	国立京都国際会館(京都府京都市)	

発表者名	発表標題	
稲垣直之	軸索伸長のためのシグナル-力変換機構	
学会等名	発表年月日	発表場所
第51回日本生物物理学会年会(招待講演)	2013年10月29日	国立京都国際会館(京都府京都市)

発表者名	発表標題	
勝野弘子, 鳥山道則, 作村諭一, 池田和司, 水野健作, 稲垣直之	Axonal transport toward growth cones driven by directional actin turnover	
学会等名	発表年月日	発表場所
生命分子システムにおける動的秩序形成と高次機能発現 第2回公開シンポジウム	2014年01月11日 ~ 2014年01月12日	キャンパスプラザ京都(京都府京都市)

(図書) 計(0)件

著者名	出版社		
書名		発行年	総ページ数

14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

(出願) 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

(取得) 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

15.備考

奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科 神経形態形成学研究室 ホームページ
http://nippon.naist.jp/inagaki_g/